



# CSRへの取り組み

## 私たちの考えるCSR

2007年2月よりCSRに着手しました。企業が社会の一員として存続するためには、利益を確保することだけでなく、様々なステークホルダーの皆様に対して社会的な責任を果たすことが必要と考えております。CSRの目的は皆様からの信頼と共感を得ることを通じて企業価値を上げることにあります。CSRを社会の要請に応えるため、事業活動の中で取り組むべき重要な経営課題であると認識しています。

三菱製紙グループの企業理念は、世界市場で顧客の信頼に応える企業グループ、常に技術の先端をいく企業グループ、地球環境保全、循環型社会に貢献する企業グループであり、事業を進める上での基本的な考え方を示しています。企業行動憲章は、企業理念を具体化する際の指針を示しており、CSRはそれを具体化する活動と考えています。

### 三菱製紙グループの企業理念

世界市場で顧客の信頼に応える企業グループ

常に技術の先端をいく企業グループ

地球環境保全、循環型社会に貢献する企業グループ

### 三菱製紙グループ企業行動憲章

三菱製紙グループ各社経営トップは、本憲章の実行が自らの責務であることを認識し、本憲章に反する事態が発生したときには、自らが問題解決にあたり、責任ある対応をします。

#### 1. [ 企業活動の目的 ]

紙、パルプおよび写真感光材料を中心に、高い技術力を活かして社会に有用な製品およびサービスの開発と提供を行い、豊かな社会の実現に貢献することを企業活動の目的とします。

#### 2. [ 法令の遵守 ]

国内外の法令およびその精神を遵守し、社会の一員として良識をもって品位ある行動をします。

#### 3. [ 企業活動の透明性 ]

公正、透明な企業活動を行い、積極的かつ適正に企業情報を開示して顧客、株主、地域社会その他の関係者とのコミュニケーションを図り、社会からの理解を深めるよう努めます。

#### 4. [ 製品・サービスの安全性 ]

製品およびサービスの開発・提供にあたっては、安全性に最大限の配慮をします。

#### 5. [ 環境との共生 ]

環境問題に真摯に取り組み、森林資源の育成に注力するなど、かけがえのない地球環境を維持し、循環型社会の構築に貢献します。

#### 6. [ 社会貢献活動への参加 ]

社会と共生していることを常に認識し、積極的に社会貢献活動に参加します。

#### 7. [ 従業員の尊重 ]

従業員の人間性を尊重し、職場においては安全を第一に考え、各人が働きやすく充実感を持てる職場環境を作ります。

#### 8. [ 反社会的勢力との断絶 ]

市民社会の秩序と安全を保持することに努め、反社会的勢力には毅然とした態度で対応します。

#### 9. [ 国際社会との協調 ]

海外においては、その文化、習慣を十分に尊重し、現地からの信頼を獲得するよう努めます。

2007年1月1日制定

## 三菱製紙グループ行動規範

三菱製紙グループ企業行動憲章に適った企業行動をとるために、グループの役員及び従業員が守らなければならない行動の規範を定めます。

1. 法規範の遵守 日本国及び関連する海外 法令の遵守	良識と責任のある行動 法令の最優先	4. 株主・投資家との関係 経営情報の開示	インサイダー取引の禁止
2. 社会との関係 社会への貢献 各種業法の遵守 寄付・献金関係法令の 遵守 反社会勢力との関係断絶	環境の保全 地域社会との協調 安全保障貿易管理 輸出入関連法令の遵守	5. 従業員ほか個人との関係 人権の尊重、差別の禁止 セクシャル・ハラスメントの 禁止	個人情報の保護 職場の安全衛生の確保 労働関係法令の遵守
3. お客様・取引先・競争会社との関係 製品の安全性 独占禁止法の遵守 購買先との適正取引、 下請法の遵守 不正競争の防止	社外との誠実な応対 常識的な接待・贈答 外国公務員贈賄の禁止 適正な表示・広告	6. 会社・会社財産との関係 就業規則の遵守 適正な会計処理 利益相反の禁止 就業時間中・会社内での 政治・宗教活動の禁止	企業秘密の管理 会社資産の適切な使用 情報システムの適切な使用 知的財産の保護
		7. その他 公益通報者の保護	

## CSR推進体制

古紙配合率乖離の問題を受け、再発防止策の一環としてCSRの強化、充実を図ることになり、2008年4月に三菱製紙本社内にCSR推進室を新設しました。三菱製紙グループのCSR活動はCSR推進室が事務局となって進めています。

### 「人権・労働」に関する委員会の設置

「人権・労働」に関するCSR活動を積極的に推進するため、「全社安全衛生委員会」に加えて、新たに「人権・労働委員会」を設置しました。委員長は人事労務担当役員とし、総務人事部長、人事グループリーダー、各場所人事担当課長から構成されます。当面は三菱製紙本体のみで立ち上げますが、将来は関連会社の人事担当責任者も加え、活動をグループ全体に広げる予定です。

これに伴い、CSR推進体制はCSR委員会の下に8つの委員会を置く形になりました。

【推進体制】

